

平成30年度 大学院人文科学府 修士課程 第1期入学試験問題  
(言語学)

1枚目の解答用紙に問1の解答を書き、2枚目の解答用紙に問2/問3/問4のいずれか1つを選択して解答を書くこと。

問1. (必修問題)

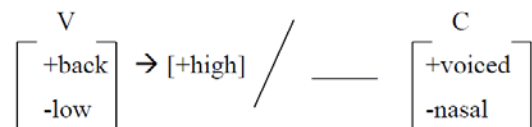
次のポーランド語のデータを見て、下の問に答えなさい。[ ] は省略したが、データは音声表記と考えること。

	単数主格形 (nom., sg.)	複数主格形 nom., pl.	意味 gloss)
a.	klup	klubi	'club'
b.	trup	trup	'corpse'
c.	dom	domi	'house'
d.	fum	fumi	'noise'
e.	snop	snopi	'sheaf'
f.	zwup	zwobi	'crib'
g.	trut	trudi	'labor'
h.	dzvon	dzvoni	'bell'
i.	kot	koti	'cat'
j.	lut	lodi	'ice'
k.	grus	gruzi	'rubble'
l.	nos	nosi	'nose'
m.	vus	vozi	'cart'
n.	koj	koje	'basket'
o.	nuf	noze	'knife'
p.	wuk	wugi	'lye'
q.	wuk	wuki	'bow'
r.	sok	soki	'juice'
s.	ruk	rogi	'horn'
t.	bur	bori	'forest'
u.	zur	zuri	'soup'
v.	vuw	vowi	'ox'
w.	ul	ule	'beehive'
x.	sul	sole	'salt'
y.	buy	boye	'fight'

[問1-1] 単数主格形と複数主格形では、子音の交替 (alternation) が見られる。どういった交替が見られるか、簡潔に述べなさい。

[問1-2] 上のデータの p. と q. について、それぞれ、単数主格形と複数主格形の基底形 (underlying form) を示しなさい。

[問1-3] 上のデータでは、次のように定式化される現象が見られる。どういう現象か、上のデータから例をあげて説明しなさい。



## 問 2. (選択問題)

以下の用語を、それぞれ日本語でわかりやすく説明しなさい。

[問 2-1] grammaticalization

[問 2-2] implicational universal

[問 2-3] ergative-absolutive alignment

[問 2-4] differential object marking

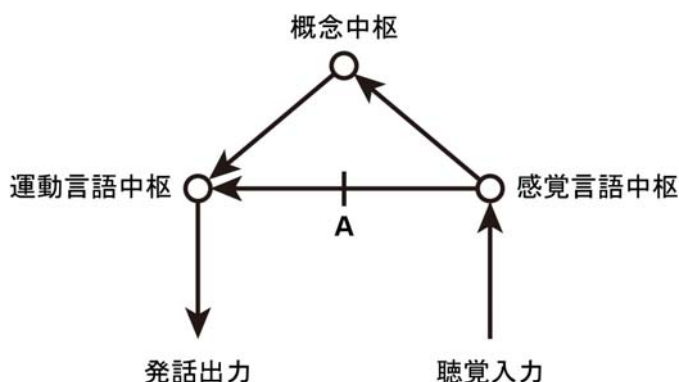
[問 2-5] sentence focus

## 問 3. (選択問題)

あなたの母語では、**否定文**にどのような種類／特徴があるか述べなさい。「否定文」の定義も含めて自分なりの記述でかまわないので、それぞれ例文を示しながら、日本語母語話者にとってよくわかるように説明しなさい。(日本語・英語以外の言語の例文には、語ごとの逐語訳と文全体の訳を記すこと。)

## 問 4. (選択問題)

以下は「ウェルニッケ・リヒトハイムの図式」と呼ばれる、古典的な失語のモデルである。下記の問題にすべて答えなさい。



[問 4-1] A に損傷が起こった場合、どのような症状の失語が生じると考えられるか。運動言語中枢に損傷が起こった場合や、感覚言語中枢に損傷が起こった場合の症状と対比して説明しなさい。

[問 4-2] 現在では、ウェルニッケ・リヒトハイムの図式では説明できない失語の症状が知られている。具体的な症状を挙げて説明しなさい。

[問 4-3] 問 4-2 で挙げた失語を説明するには、ウェルニッケ・リヒトハイムの図式にどのような変更を加えればよいか図示しなさい。変更を加えた理由を問 4-2 と関連付けて記述しなさい。